

谷川岳エコツアーリズム推進協議会の活動状況

群馬県みなかみ町

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>谷川岳一ノ倉沢エコハイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6～11月 ・内 容：高山植物などの自然解説を受けながら、日本三大岩場の谷川岳一ノ倉沢の大岩壁を目指すツアー。 舗装された道路を歩くため、スニーカーでも参加できるツアーとなっています。 ・問合せ先：水上温泉旅館協同組合 (H27年度参加者実績：364名) <p>谷川岳天神平散策ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6～10月 ・内 容：谷川岳ロープウェイを使い天神平付近を散策するツアー。 カタクリやニッコウキスゲなど、季節の高山植物のお花畑や谷川岳ならではの植物が楽しめるツアーとなっています。 ・問合せ先：水上温泉旅館協同組合 (H27年度参加者実績：67名) <p>谷川岳自然と歴史のトレッキング(谷川岳山麓ツアー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6～11月 ・内 容：湯桧曾川沿いの歴史ある道を歩き、谷川岳の一ノ倉沢の大岩壁を目指すツアー。多少の高低差もあり、トレッキング中級者向けのコース。自然解説だけでなく、谷川岳にまつわる歴史をたどることができるツアーとなっています。 ・問合せ先：水上温泉旅館協同組合 (H27年度参加者実績：46名)
エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況 ・自然環境の保全	<p><自然環境の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来種のオオハンゴンソウの除去をしながら谷川岳をトレッキングするツアーを実施。 (H27年度参加実績64名) ・一ノ倉沢の通行規制を行い、自然環境への配慮を行うとともに、トレッキングをする方への安全面の配慮を行う。また、歩行が難しい方でも一ノ倉沢を楽しんで頂くために、環境へ配慮した電気バス「一ちゃん」「倉ちゃん」を導入。

<p>・観光振興・地域振興</p> <p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>H27年度からは、協議会インタープリター研修修了生がバスガイドとして乗車しており、気軽に自然解説を楽しめる。</p> <p><観光振興・地域振興> 旅行者がみなかみ町内の旅館等宿泊施設を利用すると、特別価格で協議会のエコツアーに参加できるイベントを季節ごとに実施。また、町内の宿泊事業者と連携を図り、エコツアーと宿泊のセットプランを作成し販売促進を行う。</p> <p><環境教育の場としての活用> 町内全小中学校を対象に谷川岳のエコツアーを体験してもらう取り組みを実施。 実際のエコツアーの前に、事前学習会も行い、より身近に谷川岳を感じて頂ける事業を行う。</p>
<p>特記事項</p>	<p>特になし</p>

飯能市エコツアーリズム推進協議会の活動状況

埼玉県飯能市

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>(平成27年度実績)</p> <p>さがす・あじわう・つくる ~シカとシシづくしの土曜日~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月 実施回数：1回 参加者数：11人 ・内 容：シカやイノシシなどの動物が地元を与える環境問題を考えながら、痕跡を探す。昼食はイノシシ料理や山菜料理を味わう。食後は地元で捕獲されたシカの角や皮を使ったアクセサリーづくりを楽しむ。 ・問合せ先：休暇村奥武蔵 <p style="text-align: center;">春のお散歩マーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月・11月 実施回数：2回 参加者数：1,970人 ・内 容：南高麗地区の山あいの集落で、山道をのんびりと散策ながら景色を眺め、地元で採れた農作物や手づくり品の買い物、地元の方との交流を楽しむ。 ・問合せ先：飯能市観光・エコツアーリズム推進課 <p style="text-align: center;">ココロで感じる農的暮らし ~田んぼの風に吹かれて~【田植え編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月 実施回数：1回 参加者数：17人 ・内 容：幼稚園で食育を担当しているガイドの案内で、田植えを体験。体験を通じて、食や農の大切を体験するエコツアー。 ・問合せ先：西村純（さゆり幼稚園） <p style="text-align: center;">里山でじゃがいも収穫祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：7月 実施回数：1回 参加者数：28人 ・内 容：里山の暮らしを満喫するエコツアー。春に植えたじゃがいもの収穫体験や調理を楽しむ。お昼は里山の郷土料理を味わう。 ・問合せ先：白子五人衆 <p style="text-align: center;">みんなで守ろう！入間川の魚たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：8月 実施回数：1回 参加者数：29人 ・内 容：川の生態系を守るため、刺し網や地引網などを使ったブラックバスの捕獲を体験し、入間川の魚たちを守るエコツアー。ブラックバスや川魚の試食、箱メガネを使った川の観察も楽しめる。 ・問合せ先：入間漁業協同組合

一日漁師

～カヌーに乗ってブラックバスの駆除～

- ・実施時期：9月 実施回数：1回 参加者数：8人
- ・内 容：木製カヌーで名栗湖に乗り出し、ブラックバスを捕獲する。漁を楽しみながら流域の生態系を守るツアー。
- ・問合せ先：NPO 法人名栗カヌー工房

名栗・有間山に登ろう

～紅葉狩りとキノコ観察～

- ・実施時期：10月 実施回数：1回 参加者数：12人
- ・内 容：紅葉が始まるこの時期、森林インストラクターの案内で標高1200mの有間山を歩く。植物やキノコ観察を通じて、有間山の生態系を学び、自然の息吹を肌で感じる。
- ・問合せ先：NPO 法人西川木楽会

西川材物語ツアー

- ・実施時期：11月 実施回数：1回 参加者数：14人
- ・内 容：飯能の名産「西川材」の植林から育林、伐採、流通、加工、建築までの一連の流れを学ぶ。木の家づくりが、住む人の“木ごこち”の良さだけでなく、地球環境や地域経済にとっても、いかに大切であるかを学ぶツアー。
- ・問合せ先：飯能市観光・エコツーリズム推進課

里山のリースづくりツアー

- ・実施時期：12月 実施回数：1回 参加者数：8人
- ・内 容：里山の自然を観察した後、つるや木の実、葉っぱなどを少しだけ分けてもらい、クリスマスリースを作る。楽しみながら、自然の大切さを感じるツアー。
- ・問合せ先：NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

新春・酒蔵探訪 ～入間川の恵みに触れる旅～

- ・実施時期：1月 実施回数：1回 参加者数：14人
- ・内 容：飯能の景色を楽しみながら地元の歴史や文化をご案内し、地酒「天覧山」の酒蔵を訪ねる。昼食は地元の人気料理店でいただく。
- ・問合せ先：飯能市観光・エコツーリズム推進課

ユガテの森で箸づくりと猪なべ

- ・実施時期：2月 実施回数：1回 参加者数：14人
- ・内 容：森林の整備で伐採した間伐材を使って、五角形の木箸

づくりを体験。お昼は、製作したお箸を使って猪なべをいただく。午後は獣害対策や森の間伐の現場、製材所の見学をします。

- ・問合せ先：NPO 法人西川木楽会

美味しく食べて環境問題を考える！

竹筒ごはんエコストーブ体験

- ・実施時期：3月 実施回数：1回 参加者数：27人
- ・内容：大学の敷地内にある竹林で専門家と一緒に環境整備をし、伐採した竹で竹筒ごはんを炊く。またエコストーブを使い、地元素材を使った汁物を作り、いただくなど、おいしく食べながら、地域が持つ環境問題について考える。
- ・問合せ先：駿河台大学 地域連携センター

((平成28年度(7月以降)予定))

サトムスメが挑戦！Vol.1

はじめての滝行&カヌー体験

- ・実施時期：7月
- ・内容：飯能の自然を愛するサトムスメたちが集結し、里地里山の魅力を楽しく紹介する女性限定のシリーズ型エコツアー。初回は名栗湖でのカヌーと憧れの滝行体験。
- ・問合せ先：サトムスメが挑戦！実行委員会

杉の葉染め体験とブルーベリー摘み

- ・実施時期：8月
- ・内容：杉の葉を使った草木染めを楽しむ。お昼は、冷や汁など郷土の味をいただく。お腹がいっぱいになった後は、園内でブルーベリー摘みを楽しむ。
- ・問合せ先：東吾野女性林研「ときめ木」

薪割りから始めるPIZZAづくり教室

～栗園で過ごすおいしい一日～

- ・実施時期：10月
- ・内容：自分たちで薪を割って火を起こし、市内で教室を開いている主婦パティシエと一緒に、石窯ピザを作る。火起こし用の薪は、地元の間伐材を使う。レクチャーの中で、生活に必要なものを山から得ていた時代の知恵を感じるエコツアー。
- ・問合せ先：たいら栗園

	<p>年越し“ぶんか”再発見 ～そば打ち体験としめ縄づくり～</p> <ul style="list-style-type: none">・実施時期：12月・内 容：新年を丁寧に迎える文化を飯能で再発見。飯能の正月の風習を学びながら、そば打ちとしめ縄づくりを体験をする。・問合せ先：NPO 法人エコライフ飯能 <p>名栗谷のひなめぐり</p> <ul style="list-style-type: none">・実施時期：3月・内 容：早春の里山の風景、古民家に飾られたお雛様との出会い、一つひとつ思いを込めて丹念に作られたつるし雛が飾られたギャラリーなど、名栗谷のひな飾りを地元ガイドの案内でゆったりと巡るツアー。・問合せ先：わくわく名栗クラブ事務局
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・自然環境の保全・観光振興・地域振興	<p><自然環境の保全></p> <p>里山に生えている竹を間伐し、小物などを作ることで、楽しみながら環境問題を考えるエコツアーや、地元の漁業協同組合と一緒に川に入って外来種を駆除するエコツアーを実施している。他に再生された水辺をフィールドとして、生き物の観察や薪割り体験をして、里山の恵みを感じ、保全の大切さを養うエコツアーなどを実施している。</p> <p>飯能では、エコツアーを企画する際、内容が飯能のエコツーリズムの指針に沿っているかを事前に確認・協議を行う事前協議制度を実施し、環境の保全・環境への配慮を行っている。</p> <p>また、エコツアーで活用している資源をチェックするモニタリングを、ツアー実施者と事務局で下見やツアー当日に行っている。チェックした内容は年度末に発行している報告書を掲載している。</p> <p><観光振興・地域振興></p> <p>平成 27 年度は 121 ツアーを企画し、102 ツアーを実施し、参加者数は 4,090 人であった。平成 25 年度から 3 年続けて 4,000 人以上の参加者にお越しいただいた。</p> <p>また、参加者のリピーター率が約 52%と飯能のエコツアーのファンを創出できている。</p> <p>そして、エコツアーの企画・開催を通じて、ツアー実施者と参加者とのふれあいやツアーを通じた地域コミュニティの活性化につながっている。</p> <p>その他、市内のイベントを始め、市外の観光 PR イベントや代々木</p>

<p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>公園で開催されたエコライフフェア、東京ビックサイトで開催されたツーリズム EXPO ジャパンなどで来場者に飯能のエコツーリズムの取組みをPRした。</p> <p><環境教育の場としての活用> 小学校の遠足、総合学習を対象としたプログラムとは別に、平成27年度は、当市教育委員会による小中学校の学習林活用教育推進事業に合わせたプログラムを初夏に1校実施した。その他、従来のプログラムの実績として、春に3校（練馬区3校）、秋に2校（入間市1校、飯能市内1校）の受入れを行った。</p>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省を始めとして、他自治体や大学などの視察受入れを行った。 ・毎年開催しているエコツアーガイド養成講座「エコツーリズムオープンカレッジ」を開催し、24名のガイドを育成した。 ・推進全体構想認定地域として、全国エコツーリズム大会 in 京都・美山に参加し、当市の取組みを発表、また、他の地域との情報共有を図った。

小笠原村エコツアーリズム推進協議会の活動状況

東京都小笠原村

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>ホエールウォッチングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：(ザトウクジラ) 2～4月(ベストシーズン) (マッコウクジラ) 5～11月(ベストシーズン) ・内 容：日本で最初のホエールウォッチングが行われた小笠原諸島では、クジラに優しいウォッチングを目指し、小笠原ホエールウォッチング協会が制定した自主ルールに沿ったツアーが行われています。 陸上や船上から、クジラの雄大な生態に触れ、学ぶことができるツアーです。 ・問合せ先：小笠原ホエールウォッチング協会、小笠原村観光協会 小笠原母島観光協会 <p>ドルフィンスイム・ウォッチングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：一年を通し小笠原近海に定住しているミナミハンドウイルカやハシナガイルカなどの姿を楽しむウォッチング、ボニンブルーの海でミナミハンドウイルカと共に泳ぐスイムが楽しめます。 ・問合せ先：小笠原ホエールウォッチング協会、小笠原村観光協会 小笠原母島観光協会 <p>南島上陸ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：2月上旬～11月上旬 ・内 容：国の天然記念物にも指定されている「沈水カルスト地形」という石灰岩特有の特殊な地形で、「ドリーネ」というくぼ地や「ラピエ」という鋭くとがった岩が見られる父島南西沖の小さな無人島である南島に上陸するツアーです。 幻想的な扇池などの独特の景観に加え、多様な植生、カツオドリをはじめとする海鳥の生態を観察できます。 なお、入島資格を持った東京都自然ガイドの同行が必須になります。 ・問合せ先：小笠原村観光協会 <p>父島・千尋岩(ハートロック)ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：海拔約260mの千尋岩(ハートロック)の頂を目指すツアーです。目的地に到着すると太平洋の大パノラマ

	<p>が広がります。道中は絶景の他固有動植物と外来動植物の観察、太平洋戦争の戦跡の鑑賞などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先：小笠原村観光協会 <p>母島・石門（せきもん）一帯ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：3月～9月 ・内容：石門は、湿性高木林を主体とした原生性の高い生態系上重要な地域で、極めて貴重な母島だけに生息する固有動植物が存在します。また、“針の岩”と呼ばれる石灰岩の溶食地形（ラピエ）が、樹林内で見られます。なお、入林資格を持った東京都自然ガイドの同行が必須になります。 ・問合せ先：小笠原母島観光協会 <p>平成 27 年度は、推計 15,000 人ほどの観光客の皆様がこれらを中心としたエコツアーに参加されています。</p> <p>平成 28 年度も多くのエコツアーが実施予定です。</p> <p>各種ツアーは天候、海況等の状況により内容の変更もあります。また、生物についても野生のものであり、出会えない場合もあります。</p>
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興・地域振興 	<p><自然環境の保全></p> <p>(1) ルールの啓発</p> <p>小笠原の自然、文化を守りながら持続的な利活用をしていくために、行政が定めた法令の他、地元団体による自主ルールなどが数多くあります。</p> <p>これらのルールをとりまとめ、簡潔に分かりやすく紹介するツールとして「小笠原ルールブック」を作成し、配布をしています。</p> <p>平成 27 年度には 4 年ぶりに大幅な改訂を行い、PDF 版のネット公開も行いました。</p> <p>(2) ルールの遵守</p> <p>エコツアーを実施する事業者は、前述の各種ルールに基づいてツアーを企画運営しています。また、参加者にはその趣旨と意義を説明し、ルールを遵守してもらうよう努力しています。</p> <p><観光振興・地域振興></p> <p>(1) 平成 27 年 9 月に開催された多くの旅行関係者、ユーザーが集まるツーリズム EXPO ジャパンに出展し、小笠原のエコツーリズム</p>

<p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>ムの魅力をPRするとともに、他地域の情報収集、交換に努めました。</p> <p>(2)「協議会が掲げるエコツーリズムの主旨に則り、小笠原の固有の自然や文化を保全しながら持続的な利用を図り、利用者や地域社会に信頼されるガイドとしての活動を通じて地域振興に貢献することで、ガイドの社会的な地位を確立すること」を目的として、小笠原陸域ガイド登録制度を運用しています。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>(1)年間を通じて数多く島外から来島する修学旅行、学習旅行の児童、生徒、学生に対し、海や山のツアープログラムの中で、担当するガイドが小笠原の固有生態系の希少性と共にその保全の重要性についてレクチャーしています。また、各学校の自主的活動として、島内海岸の清掃活動(ビーチクリーン)も頻繁に行われています。</p> <p>(2)平成28年2月に協議会が実施した陸域ガイド講習の一環として、母島にて一般村民も参加しての漂着海洋ゴミについてのレクチャーと清掃作業を実施しました。</p>
<p>特記事項</p>	<p>小笠原村は平成28年1月28日に全国7番目、世界自然遺産登録地域としては初めてエコツーリズム推進全体構想の認定を受けました。</p> <p>平成28年は世界自然遺産登録5周年の年であり、登録後の来島者数の急増などの状況変化を踏まえ、それに対応していく自然遺産の保全と利用の両立のための取り組みに注目が集まっています。</p> <p>協議会においても各構成員がそれぞれの事業において両立に向けた実際の取り組みを行いながら、情報共有、協議を通して課題解決を進めるとともに、情報の発信に努めていきます。</p>

名張市エコツアーリズム推進協議会の活動状況

三重県名張市

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>忍者修行体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：忍者修行発祥地の赤目四十八滝に隣接する「忍者の森」で登り術、手裏剣術などの約 20 種類の忍者修行体験を行い、修了者に巻物「免許皆伝の書」を渡します。 ・問合せ先：赤目四十八滝渓谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 27 年度実績 10,828 人 ○平成 28 年度計画 内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>夏休みちびっこわくわく体験 ECO ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成 28 年 7 月 18 日～8 月 31 日 ・内 容：赤目四十八滝周辺の雑木林や沢で昆虫、小魚、沢蟹などの生き物を観察しながら冒険的な自然体験を楽しみます。 ・問合せ先：赤目四十八滝渓谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 27 年度実績 361 人 ○平成 28 年度計画 内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>滝に打たれて自分をみがくエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成 28 年 6 月 1 日～10 月 31 日 ・内 容：赤目四十八滝の中でも修験道修行の聖地「大日滝」まで登り、マイナスイオン溢れる幻想的な空間で、滝に打たれ、自分を磨き、癒します。 ・問合せ先：赤目四十八滝渓谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 27 年度実績 325 人 (平成 28 年 1～2 月大日滝水瀑ツアー実績 1 人) ○平成 28 年度計画 内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>赤目の歴史散策と涼を求めて赤目四十八滝へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9 月 ・内 容：地元観光案内ボランティアガイドが同行し、豊かな自然と奈良東大寺の「お水取り」で使用する松明調進にゆかりの極楽寺、柏原城跡、延寿院等の歴史文化にふれる散策ツアーです。 ・問合せ先：近畿日本鉄道株式会社 <p>平成 27 年度実績 約 400 人</p>

	<p>平成 28 年度計画 内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>青蓮寺湖ぶどう狩り・いちご狩り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：ぶどう狩り（平成 28 年 7 月 20 日～10 月 31 日） いちご狩り（平成 29 年 1 月 3 日～ 5 月 31 日） ・内 容：青蓮寺湖周辺の青蓮寺湖観光村のぶどう農園で、自然とふれあいながら、夏から秋はぶどうを、冬から春はいちごを収穫し、味わいます。 ・問合せ先：青蓮寺湖ぶどう組合 <p>○平成 27 年度実績 53,452 人 実施時期：ぶどう狩り：平成 27 年 7 月 20 日～10 月 31 日 いちご狩り：平成 28 年 1 月 3 日～5 月 31 日</p> <p>○平成 28 年度計画 内容等は前年度とほぼ同様</p>
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・観光振興 ・地域振興 ・環境教育の場としての活用 	<p><自然環境の保全> 国の天然記念物の「オオサンショウウオ」の生息保護、渓谷内遊歩道・周辺ハイキングコースの保安全管理等を行っています。 ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの生息地の保護・観察等をボランティアと連携して行っています。</p> <p><観光振興> 赤目四十八滝、香落溪等の自然資源、忍者等の歴史文化資源を活かした「伊賀地域」、「東大和・西三重」を中心とした広域で連携した観光キャンペーンを展開しています。 平成 26 年 10 月に策定した、「名張市観光戦略」に基づき、ニューツーリズムの推進、学生視線による旅行企画コンテストを開催し、観光振興を図りました。</p> <p><地域振興> 赤目四十八滝の最寄りの「近鉄赤目口」駅前で赤目まちづくり委員会が運営する「旅のステーション」と連携し、来訪者等への情報提供を図りました。 地元特産品の商品開発と連携し、地域経済の振興を図っています。</p> <p><環境教育の場としての活用> 市内外の学校、団体に、観光及びエコツーリズムの情報を発信したところ、赤目四十八滝への環境学習としての散策ツアーを行う学</p>

	<p>校が増加しました。</p> <p>また、JACAを通じた生物多様性をテーマに海外の研究員が視察に赤目四十八滝を訪れました(平成27年度実績：合計19団体)</p> <p>さらに、三重県で開催される伊勢志摩サミットのジュニアサミットの自然環境の視察地に決定し、G7加盟国の子どもたちが訪れる予定です。</p>
<p>特記事項</p>	<p>平成27年度は、赤目四十八滝周辺及び青蓮寺湖周辺のエコツアーのモニターツアーを実施し、3つのコース(赤目山麓コース、里山遊歩コース、室生赤目青山展望登山コース)のエコツアーマップを作成しました。</p> <p>赤目四十八滝渓谷は、古くから修験者や忍者の修行の地と伝わり、神秘とやすらぎの聖地であることを生かした渓谷を山上から展望する長坂山トレッキングコースを新たに造成し、「山と渓谷社」と連携した地図及び案内パンフレットを作成し、発信しました。</p>

鳥羽市エコツアーリズム推進協議会の活動状況

三重県鳥羽市

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>船で行く！漁師町の島ランチツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：鳥羽の答志島は、漁師の島。季節によって様々な魚貝が水揚げされています。鳥羽から答志島までは30分の船旅をお楽しみください。ランチには、答志島の家庭料理を食べさせてくれる食堂で、旬の魚介を！食堂の母さんとの会話も絶品！deepな鳥羽をお手軽に満喫 ・問合せ先：海島遊民くらぶ <p>海女の国スピリチュアルツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：女性のお願い石神さん参り&海女小屋体験など、漁業が盛んな鳥羽の自然と祭礼・文化の中で、いつもと違った自分だけの旅をお楽しみください。ご希望に応じてガイドがプランニングします。海女小屋では海女さんと楽しくお話ししながら目の前で魚介を焼いてもらえるおやつ付き ・問合せ先：海島遊民くらぶ <p>浮島自然水族館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：日にち限定 ・内 容：島の沖合に浮かぶ無人島である浮島、手つかずの自然に住む生き物たちとふれあえます。 ・問合せ先：島の旅社 <p>路地裏散策と海女小屋体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：路地裏を歩きながらスタッフが島の暮らしや文化を案内します。途中には、つまみ食いできる島の味と、海女小屋でお昼を頂きます。 ・問合せ先：島の旅社
<p>エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 	<p><自然環境の保全></p> <p>観光資源を体験するだけでなく、知ることで、自然環境の保全へと繋げていきます。エコツアーカフェ等で観光と自然環境との関わりを学び、観光資源である自然を使いすぎないよう活用・保全を行っていきます。</p>

<p>・観光振興・地域振興</p> <p>・環境教育の場としての活用</p>	<p><観光振興・地域振興></p> <p>漁業者が日々感じている「観光客へのおもてなし」の想いを形にするため、鳥羽磯部漁協和具浦支所からの依頼を受け、答志島和具産の生わかめを無料配布しました。</p> <p>ツーリズムEXPOジャパンに参加し、エコツーリズムのPR及び情報交換に努めました。</p> <p>エコツーリズム推進協議会の英語版ホームページを開設し、日本国内だけでなく海外のかたへの周知に努めました。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>気軽に鳥羽のエコツーリズムを知っていただけるエコツーカーフェを開催しています。エコツーカーフェは講演会とは違い、ざっくばらんに講師と意見交換を行うことができるため、参加者の知識向上につながります。</p>
<p>特記事項</p>	<p>鳥羽市エコツーリズム推進協議会では、「循環」と「連携」をキーワードに鳥羽のエコツーリズムを進めるため、さまざまな団体が協議会に関わり、協議や仕組みづくり、普及啓発を行っています。また今年、伊勢志摩で全国エコツーリズム大会が開催されるため、伊勢志摩国立公園の魅力と併せ、鳥羽のエコツーリズムのPRを推進していきます。</p>

南丹市美山エコツーリズム推進協議会の活動状況

京都府南丹市

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>かやぶきの里ガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内 容：美山町北地区（国の重要伝統的建造物群保存地区：通称かやぶきの里）を団体向けに地元のガイドが同行してご案内します。かやぶき屋根の材料や構造、暮らしぶりなどについて丁寧にお話します。集落内には民俗資料館があり内部の見学もできます。 ・問合せ先：有限会社かやぶきの里・北村かやぶき保存会 平成 27 年度実績：約 8,000 人（268 団体） 平成 28 年度計画：前年度同様 <p>子供向け自然体験「アンキッズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年（キャンプ 8 回） ・内 容：子ども向けキャンプを年 8 回、日帰り 1 回、年間 19 日間のシリーズ。 ・問合せ先：NPO 法人芦生自然学校 <p>子供向け自然と暮らしの体験「おひさまこども倶楽部」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4 月（最終週の土日）、7 月 28 日～30 日、10 月上旬の土日、翌 2 月中旬の土日 ・問合せ先：美山町自然文化村 <p><small>あしゅう</small> 芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4 月中旬～11 月 ・内 容：関西以西では屈指のブナの原生林を抱く京都大学芦生研究林を地元ガイドがご案内します。美山の自然や文化についてお話ししながらゆっくりと歩きます。研究林への車での乗り入れは規制されていますが、このツアーは、大学との連携で実現しています。 ・問合せ先：美山町自然文化村・芦生山の家 平成 27 年度実績：2,630 人（美山町自然文化村主催分） 平成 28 年度計画：前年度同様 <p>ベニバナヤマシャクヤク鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6 月初旬と 10 月初旬 ・内 容：京都府指定希少野生植物の「ベニバナヤマシャクヤク」を 6 月初旬の 2 日間限定でご覧いただける鑑賞会です。希少植物を守る活動や地域の活性化に如何につながるかなど地元のみなさんと楽しみながら鑑賞します。秋

には、真っ赤な実をつけた姿を鑑賞します。

- ・問合せ先：内久保環境・史跡保存会
平成 27 年度実績：100 名
平成 28 年度計画：10 月 2 日（日）に開催予定

森の命を頂く～鹿狩&解体ツアー体験

- ・実施時期：10 月～翌 6 月
- ・内 容：獣にいかにか遭遇するか。遭遇した時、実猟ではまさに撃つチャンス。この体験では獣に遭遇することをゴールとし、季節、状況に応じたさまざまな方法で参加者とともに挑戦します。出会うまでのプロセスとその緊張感を肌で感じ、野生動物との本気のやり取りを実感して下さい。狩猟はいつでも成功しません。遭遇がない場合もあることを十分にご理解いただいたうえで参加してください。人と自然のつながりを学びます。
- ・問合せ先：田歌舎
平成 27 年度実績：100 名
平成 28 年度計画：前年度同様

美山川ラフティング

- ・実施時期：4 月～10 月中旬
- ・内 容：美山川のコースは水と景色の美しさが最大の魅力です。激しい瀬は数少ないものの、透明感あふれる水面を早い流速に乗って流れる感覚は爽快そのものです。川底には小魚、あるときは鮎やアマゴが走る姿が手に取るように見ることができます。安全な流れの中では川に入って浮かんで流される体験や大岩からの飛込みなど、ラフティングを通じて幅広い川遊びを体験する事ができます。小さなお子様からおじいさんおばあさんまで、みんなが楽しめる川下りです。
- ・問合せ先：田歌舎
平成 27 年度実績：400 名
平成 28 年度計画：前年度同様

全国エコツーリズム大会 in 京都美山

- ・実施時期：10 月 15～17 日
- ・内容：
1 日目：シンポジウム
基調講演 株式会社オリエンタルランド特別顧問
福島 祥郎氏
問題提議 一般社団法人 日本旅行業協会 会長
田川 博己氏
交流会（伝統食の試食と交流）

2日目

エコツアー体験（6コース）

Aコース「教えて！かやぶき職人さん。屋根はどうやって葺くの？」

Bコース「森の命をいただく～鹿の狩猟体験ツアー～」

Cコース「京都大学芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー」

Dコース「竹細工・草木染めと伝統食～田舎暮らし体験」

Eコース「川と友達になろう！清流美山川・ラフティングツアー」

Fコース「地元ガイドが奥まで教える、ぶらり・かやぶきの里」

3日目：シンポジウム

評価会

・問合せ先：推進協議会事務局

平成27年度実績：330名（シンポジウム参加者）

平成27年度実績：89名（エコツアー参加者）

平成28年度計画

第1回美山エコツーリズム大会として平成28年12月10日～11日に実施予定。

1日目：講演会、エコカフェ（交流会）

2日目：エコツアー実施

美山のエコツアーを実施し質の向上とガイドの研修・評価等を行う予定。（ツアー内容は未定）

大人の修学旅行モニターツアー

・実施時期：11月下旬

・内容：美山の自然や暮らしの体験を行います。佛教大学との連携協定に基づき、京都府の大学と連携し公共政策士の養成プログラムの一環としてモニターツアーを実施しました。どのような手法で「観光による地域活性化」が可能になるのかを追求しました。結果、地域の観光を「事業」として捉え、事業計画や売上額の目標、雇用の確保がどれだけできれば人口減少の歯止めに有効な産業として位置づけることができるのかなどを検証しました。

・問合せ先：美山ふるさと株式会社

平成27年度実績：21名

平成28年度計画：平成28年11月26日～27日に実施予定

<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保全 ・ 観光振興 ・ 地域振興 ・ 環境教育の場としての活用 	<p><自然環境の保全></p> <p>美山町の重要な地域資源である芦生の森の環境保全のために入林規制をもうけ、観光事業者は、このルールに従ってツアーを実施している。このルールとは、車両の進入禁止エリアに、1日1事業者2台の車両を許可し自然環境に対する影響を最小限にとどめています。</p> <p>また、野草教室、ホタル鑑賞、ガイドツアーハイクなど地域住民が所有する山野をことわって利用させていただいています。特に、盗掘や無断採集等がないよう参加者には説明を行っています。南丹市では、カジカガエル保護条例やホタル保護条例などで対象となる生物の保護を通して貴重な自然環境をみんなが意識して守るようにしています。</p> <p><観光振興></p> <p>観光を通じた六次産業を目指す美山町は、エコツーリズムを活用して農産物の販売、加工食品の販売、宿泊、料飲事業、旅客運送事業、旅行業などを行っています。</p> <p>最近では、インバウンドの急増によりかやぶきの里の観光や田舎の伝統的な暮らしぶりの体験などの関心が高まり、冬期の観光の売上が向上しています。そのため、WEB 上での詳しい情報発信や表示板の多言語化、体験メニューの開発が求められています。</p> <p><地域振興></p> <p>エコツーリズムには、地域の協力なくして実施できない。観光客を受け入れることで地域の資源に誇りを持ち、生きがいを感じることでできる機会が数多く生まれています。広い面積を有する美山町では、観光振興や地域振興の地域の違いによる温度差も生じており、平成 28 年度に設立される地域 DMO と連携し、今後オール美山で観光事業に取り組むことが課題です。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>平成 14 年から教育旅行を受け入れている。年間 10 数校の小中校が美山町を訪れており、日本の農山村の原風景が残る美山町で景観とそこに住まうつつましい暮らしぶりを学ぶことができます。芦生の森が代表する貴重な大自然に触れることは人間が一人では生きることができないことを実感することができ、「共生」と「感謝」という日本人の根本的な精神に触れ学ぶには美山町は最高の舞台を提供してくれます。</p> <p>今年度は5月～3月に台湾からの教育旅行を5本受け入れました。</p>
--	--

特記事項	<p>本協議会は、平成 26 年 11 月に南丹市美山エコツーリズム推進全体構想が認定され、地域でのエコツーリズムの関心の高まりを推進する大きなきっかけとなりました。京都府が推進する「森の京都構想」や美山町全域を含む丹波高原が平成 28 年 3 月 25 日に国定公園に指定を受けています（名称：京都丹波高原国定公園）。地域の活性化に弾みをつけることが期待されます。</p> <p>全国エコツーリズム大会を機に、協議会内にガイド部会を設け、ガイド、コーディネーターの登録、研修の準備を行いました。平成 28 年度の事業では、登録、研修を行っていきます。</p>
------	--

渡嘉敷村エコツーリズム推進協議会・

座間味村エコツーリズム推進協議会の活動状況

沖縄県渡嘉敷村・座間味村

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>慶良間地域では、さまざまな事業者によって、スキューバダイビング、シュノーケリング、シーカヤックなどの体験型エコツアーやホエールウォッチングなどのエコツアーが実施されています。</p> <p>スキューバダイビングやシュノーケリング、シーカヤックなどは一年を通じて行われているほか、ホエールウォッチングは1月から4月にかけて行われています。</p> <p>平成28年度も例年同様のエコツアーが実施されます。</p>
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況 ・自然環境の保全 ・観光振興、地域振興 ・環境教育の場としての活用	<p><自然環境の保全> 地元のダイビング協会などが中心となり、海域の保全活動として、オニヒトデの駆除、シロレイシガイダマシの駆除や海岸清掃などを実施しました。</p> <p><観光振興・地域振興> 慶良間地域は、平成26年3月5日に国立公園に指定されたことなどを受けて、マスコミなどを通じて全国的に紹介されることが多くなり、エコツアーの問い合わせや利用者も増えてきました。それに併せて地域の飲食店、民宿などの利用者も増加しました。</p> <p><環境教育の場としての活用> 渡嘉敷村では、渡嘉敷村を訪れた修学旅行生に対して、自然環境の解説などを実施しました。</p> <p>また、座間味村では地元ダイビング協会協力のもと、地元の児童生徒へ環境教育として、6月にはサンゴの産卵学習や、体験ダイビングを毎年おこなっています。陸域としては、地元小学生によるケラマジカの調査をおこないました。</p>
特記事項	協議会構成員の座間味村ホエールウォッチング協会が第11回エコツーリズム大賞の優秀賞を受賞。